

術後断端管理から学ぶ下腿義足ギプスソケット製作実技セミナー

主催 公益社団法人日本義肢装具士協会 西日本支部研修委員会
共催 一般社団法人日本義肢協会 中国・四国支部
後援 一般社団法人日本義肢協会 近畿支部
協賛 常翔学園 広島国際大学(予定)
協賛 阜志会(神戸医療福祉専門学校三田校義肢装具士科 OB 会)

近年、ライナーの普及に伴い、切断後の義足製作をリハビリテーション病院で行う症例が増加している。合併症を有する患者や高齢者においても義足による実用歩行を獲得できる例が増えている一方で、義足リハビリテーションの経験が少ない医療機関では、対応に苦慮するケースもみられる。こうした場面で、断端管理の知識を基盤とし、訓練用下腿義足製作の前段階として義肢装具士がギプスソケットを提案・提供ができれば、それは医療機関にとって有用な選択肢の一つになると考える。

ギプスソケットは、術後や抜糸直後など断端変化が大きい時期において、義足適応を判断するための有効な手段である。早期荷重歩行訓練や義足部品の評価が可能であるという点も大きな利点である。一方で、理論や技術・方法はいまだ十分に体系化されているとは言い難く、製作が義肢装具士個人の経験に依存する傾向がある点には留意が必要である。

本セミナーでは、本分野に精通した2名の講師を招聘し、「術後の断端管理」および「プラスチックキャストを用いた各種ギプスソケットの適応」について講演いただくとともに、ギプスソケットの懸垂方法の違いによる適応判断についても解説いただく。

実技では、シリコンライナー、プラスチックキャストおよびPTB カフベルトを用いた下腿切断用ギプスソケットの製作を行う。下腿義足ユーザーの協力のもと、採型からソケット適合、平行棒内でのスタティックアライメントまで、一連の工程を実践的に学ぶ内容である。

記

到達目標	① 断端管理の基礎知識の習得 ② ギプスソケットの効果と適応（メリット、デメリット）の理解 ③ ギプスソケットの製作及び適合（スタティックアライメントまで）ノウハウとチェックポイントの共有
内 容	講演「術後の断端管理に関する座学」 講師：永富 史子 先生（川崎医科大学高齢者医療センター） 講演「ギプスソケットの基礎理論、ソケットの製作実技・適合」 講師：南 安晃 先生（日本フットケアサービス 株式会社）
日 時	2026年10月3日（土）10：00～16：30
会 場	広島国際大学 東広島キャンパス（予定）
開催形式	対面座学・実技
定 員	10名
参加費	正会員・購読会員：35,000円 非会員：70,000円
申込期間	2026年6月1日（月）～2026年7月31日（金）

以上

【申込方法】

- ・参加ご希望の方は、右下に示す QR コードより、必要情報をご記入の上、参加登録を行って下さい。

参加費の支払いをもって、申し込み完了となります。

※申し込み後、一週間が経過しても連絡がない場合は、問合せ先の担当までご連絡ください。

【注意事項】

- ・本セミナーは先着順の受付とさせていただきます、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。
- ・申し込み開始は 2026 年 6 月 1 日（月）～となります。
- ・申し込み後のキャンセルおよび当日欠席の場合でも参加費の返金は致しません。
- ・義肢協会（近畿支部・中国四国支部）加盟企業の従業員は、会員価格で申し込みいただけます。

【問い合わせ先】

公益社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 西日本支部

セミナー幹事：山本 宗平

E-mail：niraikanai_0316@yahoo.co.jp



申し込み QR コード